



2

複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ
(自殺予防に関する委員会)

6月19日(木) 10:00~12:40 G会場

司 会	(札幌医科大学神経精神医学講座) (岩手医科大学医学部神経精神科学講座)	河西 千秋 大塚 耕太郎
講 演 者	(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター) (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター)	張 賢徳 太刀川 弘和
メインコーディネーター	(札幌医科大学神経精神医学講座)	河西 千秋
サブコーディネーター	(岩手医科大学医学部神経精神科学講座)	大塚 耕太郎

自殺予防に関する委員会の企画による本ワークショップは、メンタルヘルス・ケアと自殺予防のための教育モジュール、10 Essentials (テン・エッセンシャルズ) に準拠して実施されます。

患者、あるいはメンタルヘルス不調者の自殺予防は、精神科医療の中でも最も重要な課題であると同時に、最も難易度の高いものです。自殺と精神疾患の関連は密接であり、自殺予防対策に関する法規、大綱等においても、精神科医の自殺予防対策への関与が強く求められていますが、医学・保健・福祉教育における卒前・卒後教育のいずれにおいても、系統的に自殺予防学を学ぶ機会はほとんどありません。そのため、精神科医を含む専門職の多くが自殺関連行動への対応について知識・技量の不足を自覚し、困難感を感じていることが調査により明らかにされています。

10 Essentials は、メンタルヘルス不調者、ないしは精神疾患患者の自殺リスクの網羅的把握、自殺の切迫性の判断と、それらを踏まえた自殺リスクへの対応と問題解決アプローチの実践を可能とするために開発された教育モジュールです。ワークショップは、自殺予防に関する基礎レクチャーと、グループワークによる模擬事例(複雑事例)の検討から成ります(計2時間40分)。グループワークは、講師と、各島2名以上のファシリテーターが担当して実施されますが、ファシリテーターは、実際に自殺予防医療の現場に従事する専門職(精神科医、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士等)が務めます。

本ワークショップは、すでに日本精神神経学会総会にて5年以上にわたり経年的に継続実施されており、受講前後評価において、高い学習効果と満足度が確認されています。